

進路通信

No.14

始業式に願書提出です！

懇談で確認をした私立高校の願書の準備を1月から始めます。

○WEB出願ありの学校については、多くの学校が12月から情報入力期間が始まっています。情報入力を済ませて始業式の日、出願情報記録用紙(学校によって名称がことなります)を印刷し始業式の日提出してください。

○WEB出願なしの学校については、始業式の日までに要項や願書一式を請求するか高校に直接取りに行くようにし、鉛筆で薄く下書きをした状態で始業式の日提出してください。

また、公立高校については、特別選抜等は担任から願書と振込用紙の配布をします。なので、準備する必要はありません。ただし、高専については、個別で担任より連絡しています。

その他

・提出の際は、出願書類等チェック表を記入し、配布されたクリアファイルに入れて提出してください。

・懇談で確認した私立が最終決定の受験校です。異なる学科・コースへの変更や、始業式に突然違う学校の願書を持って来ないでください。

・1月18日(火)に私立高校の出願に向けての願書点検を行います。この日までに出願の準備が整うよう余裕をもって準備をすすめてください。

※一部の高校はWEB出願の入金開始日が1月18日以降ですので、別日にチェックを行う予定です。

有意義な冬休みを過ごすために

今年も終わりに近づいてきました。冬休みは短い期間ですが、3年間の勉強の総復習を計画的に上手に取り組みしましょう。苦手なところや何度も間違えるところをしっかりとやり直しましょう。欲張りすぎて無理な勉強計画を立てると、中途半端な勉強になり、あせる気持ちだけが残ると逆効果ですから注意しましょう。

冬休み進路課題 自己申告書を書こう

公立高校(特別選抜、一般選抜など)の出願の際には、「自己申告書」の提出が必要です。
公立受験予定者のみ、「自己申告書」を書き、3学期の始業式に提出してください

〈書き方の注意点〉

- ・文字は人格を投影します。ゆっくり、心をこめて書きましょう。(文字の上手い下手を気にせず、ていねいに書きます)
- ・適切な文字の大きさ・濃さで書きましょう。(小さく・細かく・びっしりと書かないように)
- ・書く量は、1行に30字ぐらいの大きさの字で30行(900文字)以上書くようにしましょう。
- ・文章は簡潔に構成しましょう。(1つの文があまり長くならないように)
- ・読み手が読みやすく、理解しやすい構成で書きましょう(箇条書きにしたり、見出しや文字の太さ、大きさを工夫する)
- ・はじめの書き出しや段落のはじめの書き出しは1マス空けます。
- ・段落の始まりは必ず改行します。行のはじめに句点(。)読点(、)がこないように書きます。

〈内容の注意点〉

- ・各学校が発表する「アドミッションポリシー」に合う文章を考える。(アドミッションポリシーのすべてを入れなくても良い)
- ・基本的にネガティブ(否定的)なことは避ける、ポジティブ(肯定的、積極的)なことを書くようにする。
- ・「志願の理由」は〇〇高校を志願した理由は・・・と、「アピール」は自分の誇れることは・・・と絞って記入し、余分なことは書かないように。
- ・中学校までの経験と高校(将来)でどのようなことがしたいかを両方とも必ず書くこと。つまり現在・過去・未来を書く必要があります。【現在・過去】は、「自分が中学生の間がんばった事や出来る様になったこと、続けたこと」です。【未来】は、「進路先の高校でがんばりたいこと、経験したいこと」です。これを出るだけ具体的な事実を盛り込んで書いてください

令和4年度 大阪府公立高等学校等アドミッションポリシー(求める生徒像)
並びに学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ



